

島根県の地震

平成30(2018)年6月

・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

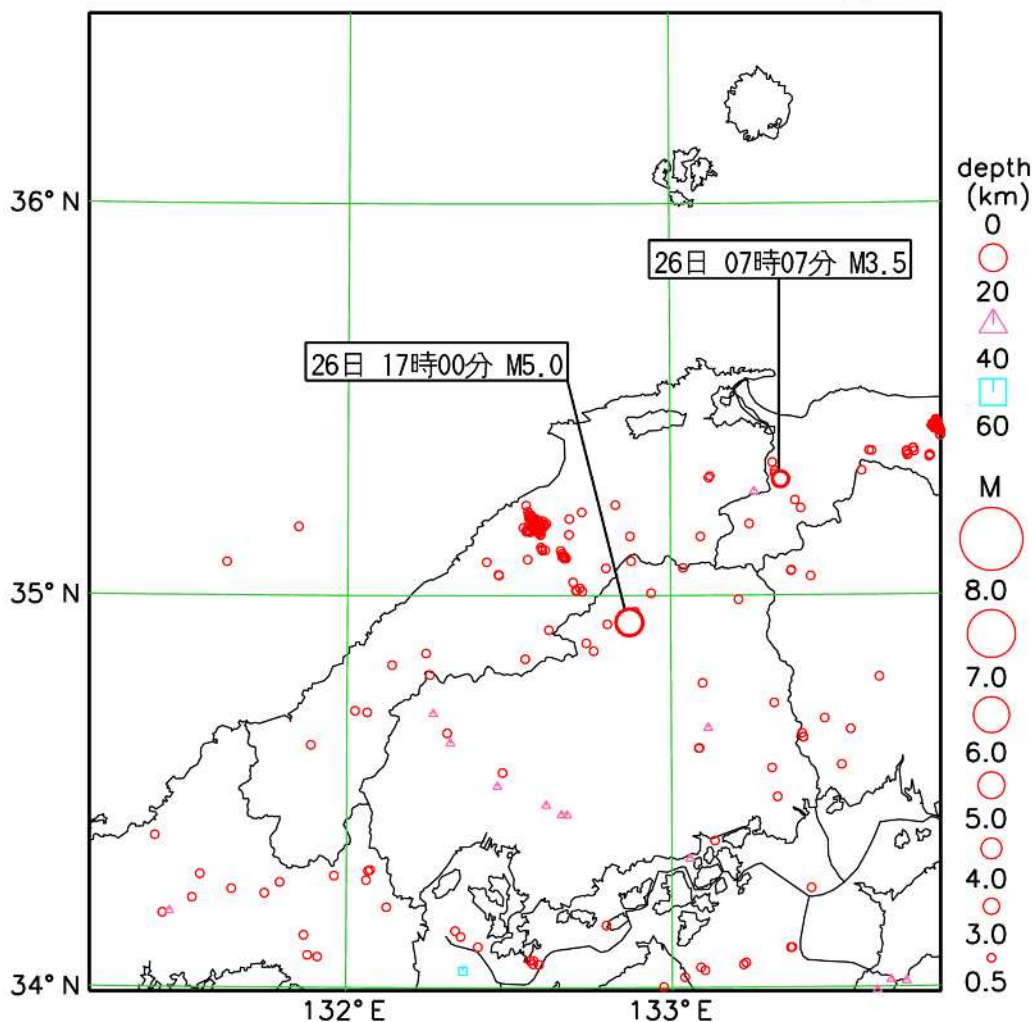
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2018年6月1日～30日

2018 06 01 00:00 -- 2018 06 30 24:00

N=390



[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は390回（5月は505回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、4回でした。

12日04時54分 大隅半島東方沖の地震（深さ28km、M5.6：地図範囲外）により、浜田市・益田市・大田市で震度1を観測しました。また、宮崎県で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました。

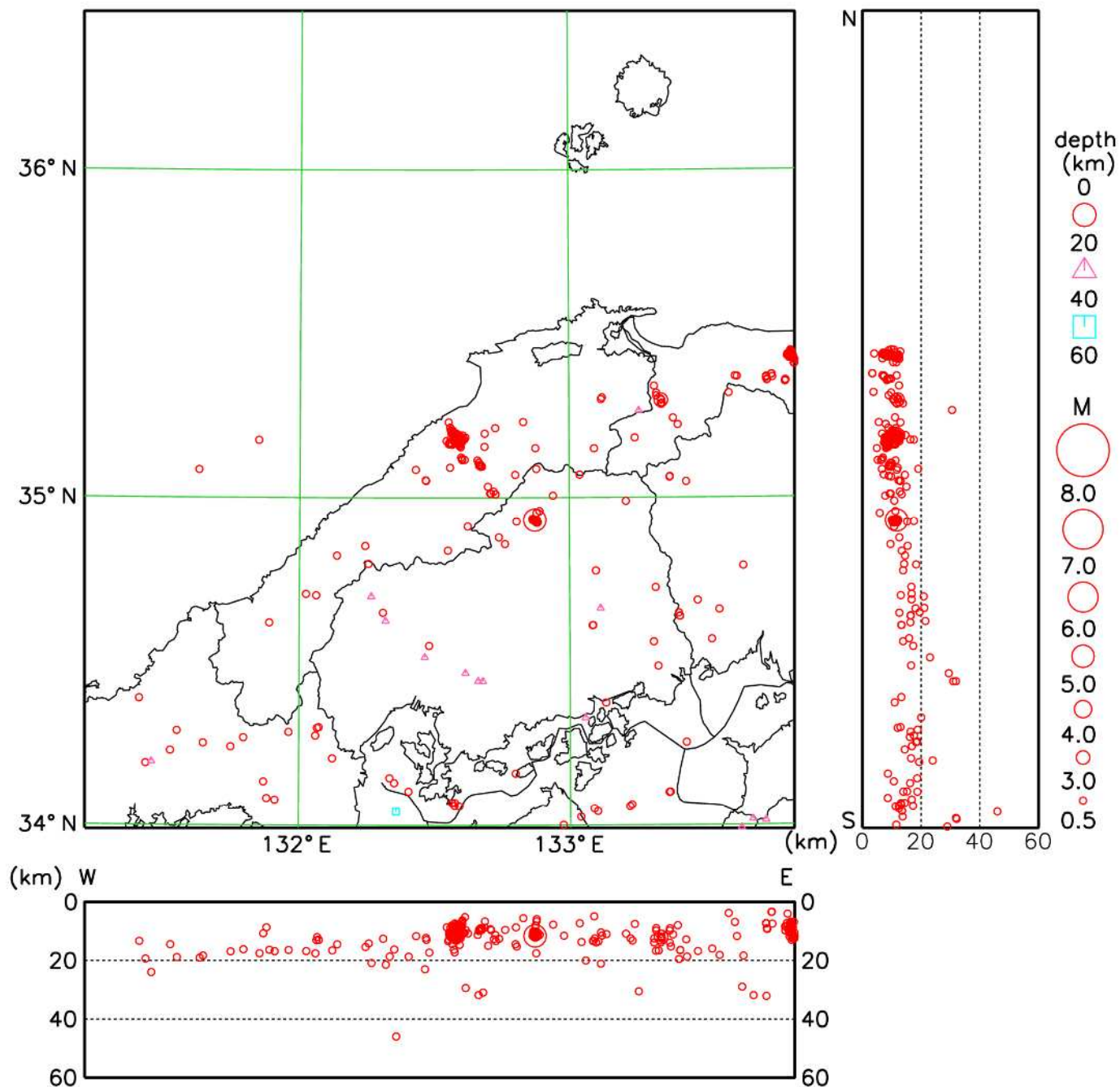
18日07時58分 大阪府北部の地震（深さ13km、M6.1：地図範囲外）により、隠岐の島町で震度3を観測したほか、県内広い範囲で震度2～1を観測しました。また大阪府で震度6弱を観測したほか、関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5強～1を観測しました。

26日07時07分 鳥取県西部の地震（深さ12km、M3.5）により、安来市で震度2を観測したほか、奥出雲町で震度1を観測しました。また鳥取県で震度2を観測したほか、岡山県、広島県で震度1を観測しました。

26日17時00分 広島県北部の地震（深さ12km、M5.0）により、飯南町で震度4を観測したほか、県内広い範囲で震度3～1を観測しました。また広島県で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

[断面図]

2018 06 01 00:00 -- 2018 06 30 24:00



6月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2018年06月12日04時54分	大隅半島東方沖	31° 11.3' N	131° 33.5' E	28km	M5.6
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 1：浜田市殿町*、益田市常盤町*、大田市仁摩町仁万*				

2018年06月18日07時58分	大阪府北部	34° 50.6' N	135° 37.3' E	13km	M6.1
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 3：隠岐の島町城北町*				
	震度 2：松江市西津田、松江市学園南*、松江市鹿島町佐陀本郷*、松江市玉湯町湯町*、出雲市今市町、出雲市塩冶有原町*、出雲市平田町*、出雲市湖陵町二部*、出雲市大社町杵築南*、出雲市斐川町莊原*、雲南市加茂町加茂中*、雲南市木次町里方*、浜田市殿町*、大田市仁摩町仁万*、海士町海士*、隠岐の島町西町、隠岐の島町布施*、隠岐の島町都万*				
	震度 1：松江市西生馬町、松江市八束町波入*、松江市東出雲町揖屋*、松江市八雲町西岩坂*、松江市宍道町宍道*、出雲市坂浦町、出雲市多伎町小田*、出雲市佐田町反辺*、安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*、安来市伯太町東母里*、雲南市大東町大東、雲南市掛合町掛合*、雲南市三刀屋町三刀屋*、奥出雲町横田*、奥出雲町三成*、浜田市三隅町三隅*、益田市常盤町*、大田市大田町*、大田市温泉津町小浜*、江津市桜江町川戸*、川本町川本*、島根美郷町都賀本郷*、邑南町淀原*、邑南町瑞穂支所*、隠岐の島町山田、隠岐の島町北方*				

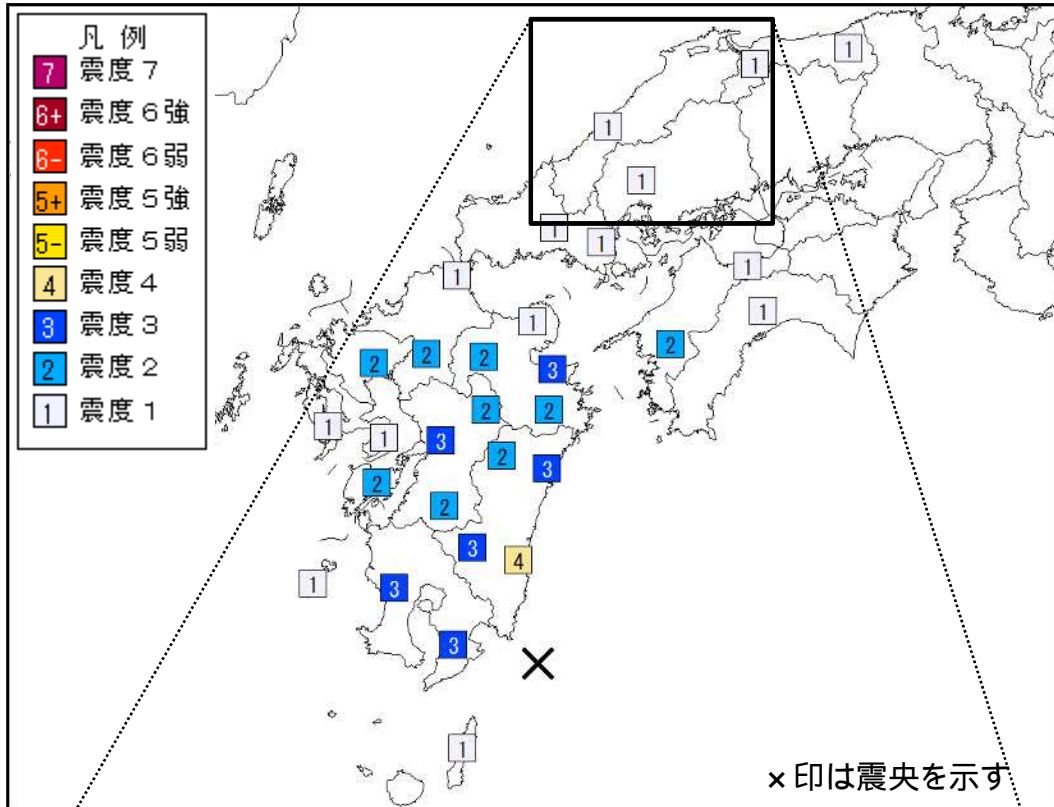
2018年06月26日07時07分	鳥取県西部	35° 17.7' N	133° 20.5' E	12km	M3.5
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 2：安来市伯太町東母里*				
	震度 1：奥出雲町横田*、奥出雲町三成*				

2018年06月26日17時00分	広島県北部	34° 55.8' N	132° 52.3' E	12km	M5.0
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 4：飯南町下赤名*				
	震度 3：安来市伯太町東母里*、雲南市掛合町掛合*、雲南市三刀屋町三刀屋*、飯南町頓原*、奥出雲町三成*、川本町川本*、島根美郷町都賀本郷*、邑南町下口羽*、邑南町瑞穂支所*				
	震度 2：松江市学園南*、松江市鹿島町佐陀本郷*、松江市玉湯町湯町*、松江市八雲町西岩坂*、松江市宍道町宍道*、出雲市塩冶有原町*、出雲市平田町*、出雲市佐田町反辺*、出雲市湖陵町二部*、出雲市大社町杵築南*、出雲市斐川町莊原*、雲南市大東町大東、雲南市加茂町加茂中*、雲南市吉田町吉田*、雲南市木次町里方*、奥出雲町横田*、浜田市三隅町三隅*、大田市大田町*、大田市仁摩町仁万*、大田市温泉津町小浜*、江津市江津町*、江津市桜江町川戸*、島根美郷町君谷、島根美郷町粕淵*、邑南町淀原*、海士町海士*、隠岐の島町山田、隠岐の島町布施*、隠岐の島町北方*				
	震度 1：松江市西生馬町、松江市西津田、松江市美保関総合運動公園*、松江市島根町加賀*、松江市八束町波入*、松江市東出雲町揖屋*、出雲市今市町、出雲市坂浦町、出雲市多伎町小田*、安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*、浜田市大辻町、浜田市野原町*、浜田市殿町*、浜田市金城町下来原*、浜田市旭町今市*、益田市匹見町石谷、益田市常盤町*、益田市匹見町匹見*、益田市美都町都茂*、津和野町後田*、津和野町日原*、邑南町矢上*、吉賀町六日市*、吉賀町柿木村柿木*、隠岐の島町西町、隠岐の島町都万*				

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

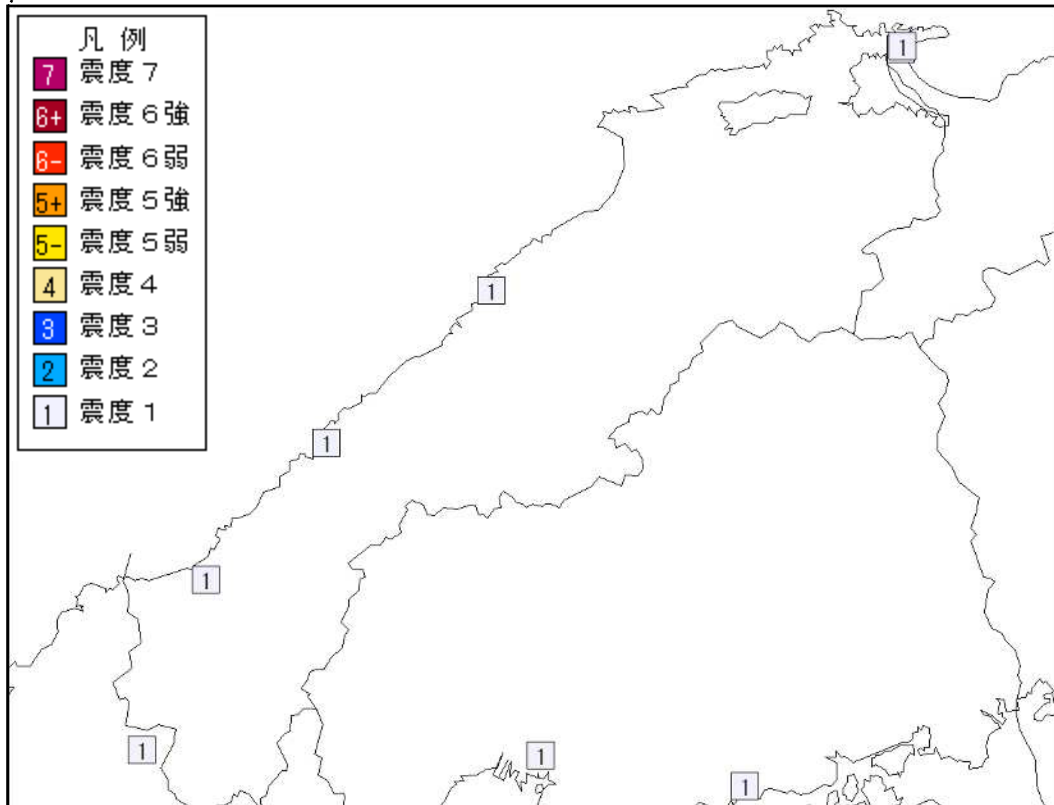
【地域震度分布図】

2018年 6月12日 4時54分 大隅半島東方沖



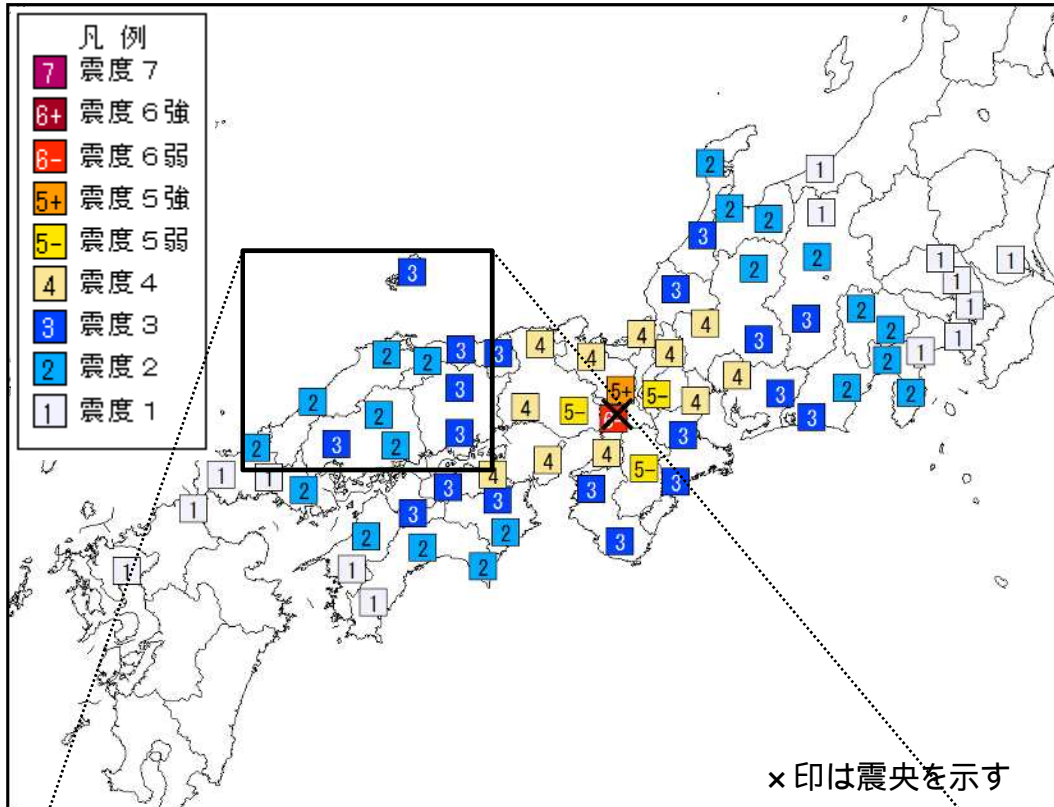
【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



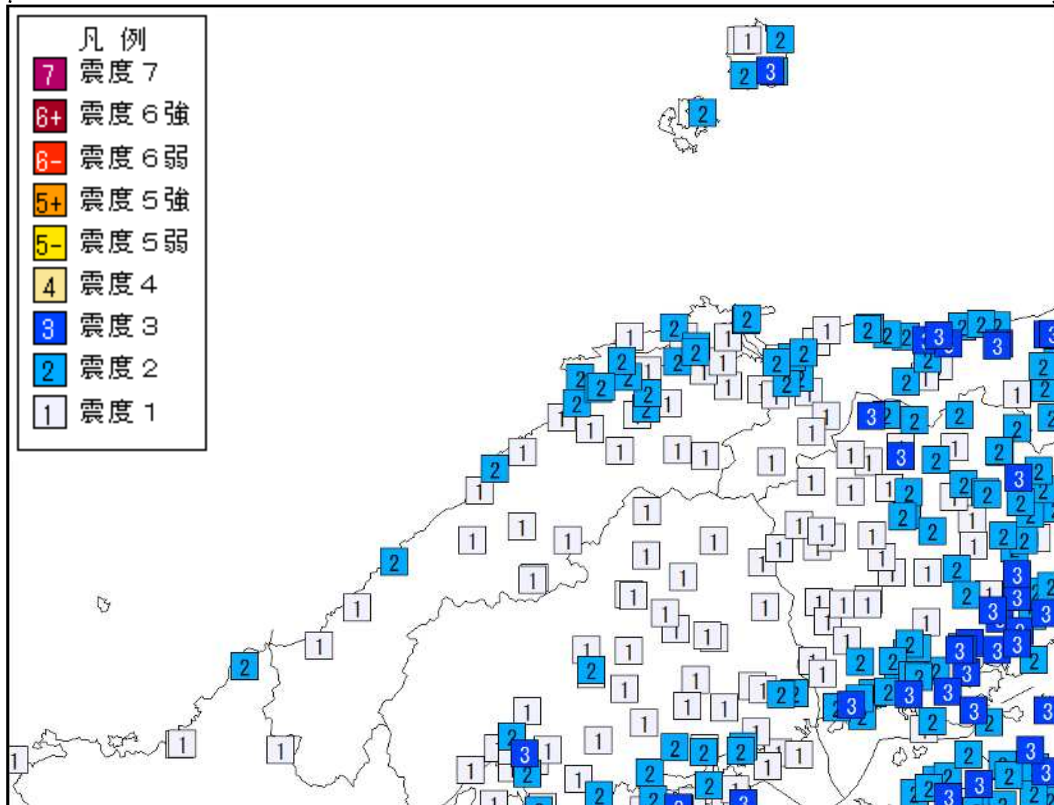
【地域震度分布図】

2018年 6月18日 7時58分 大阪府北部



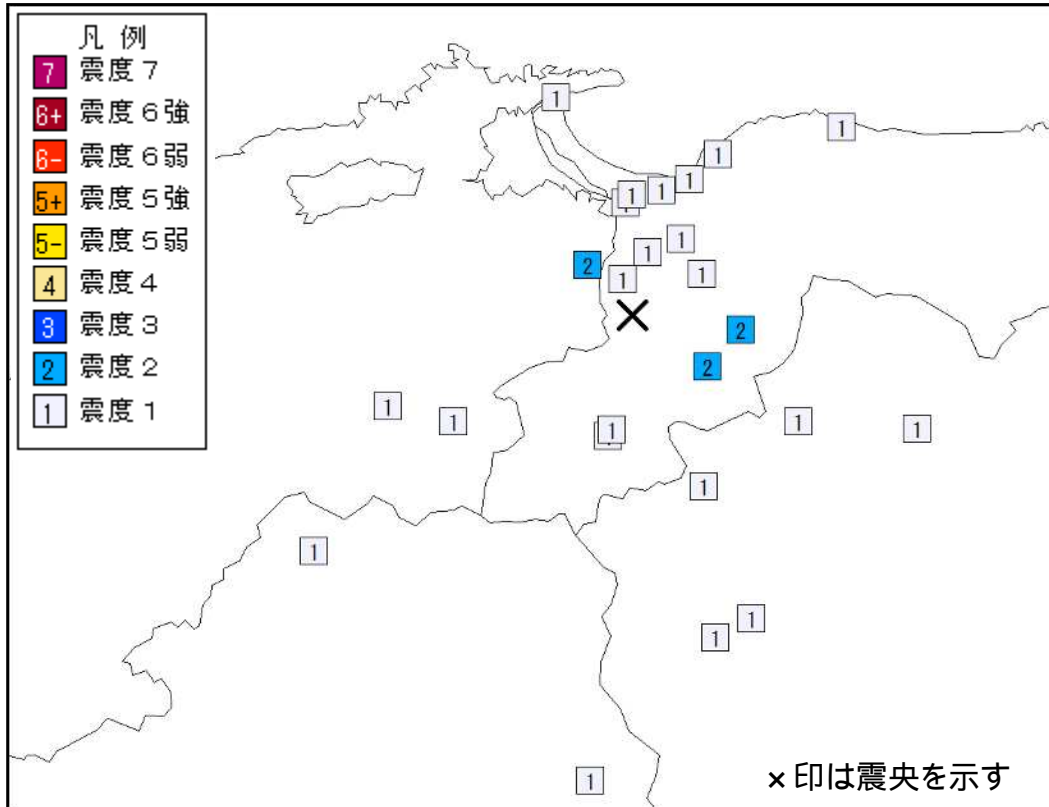
【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



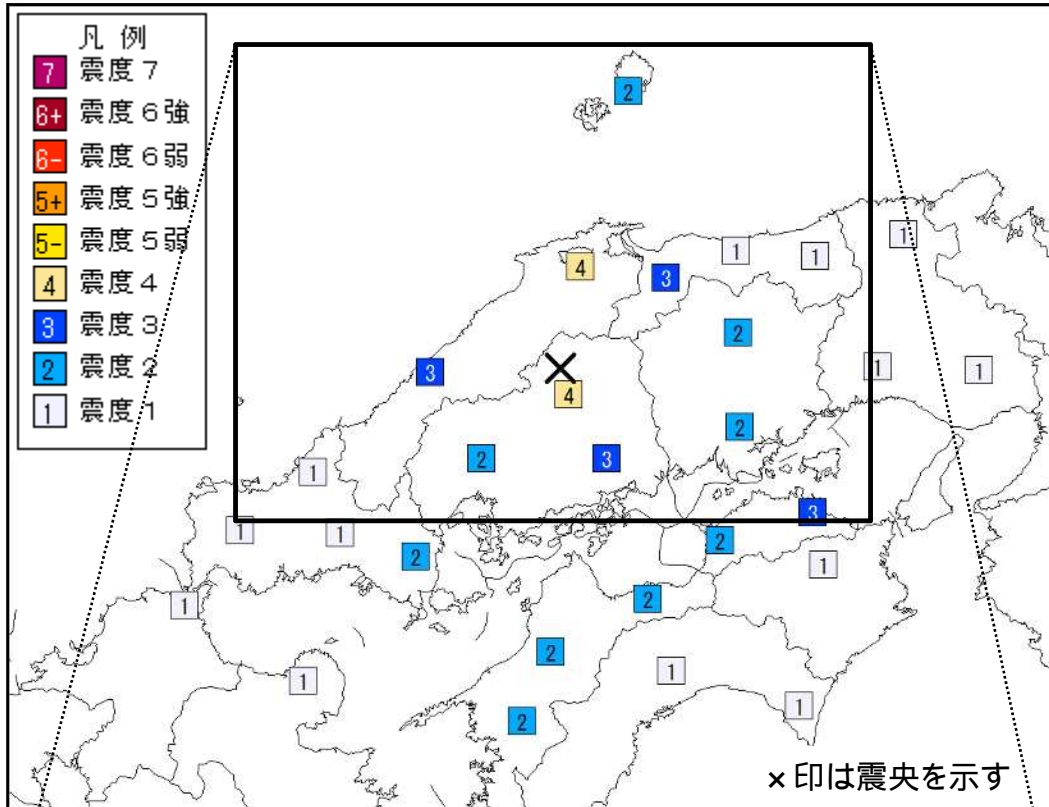
【観測点震度分布図】

2018年6月26日7時07分 鳥取県西部



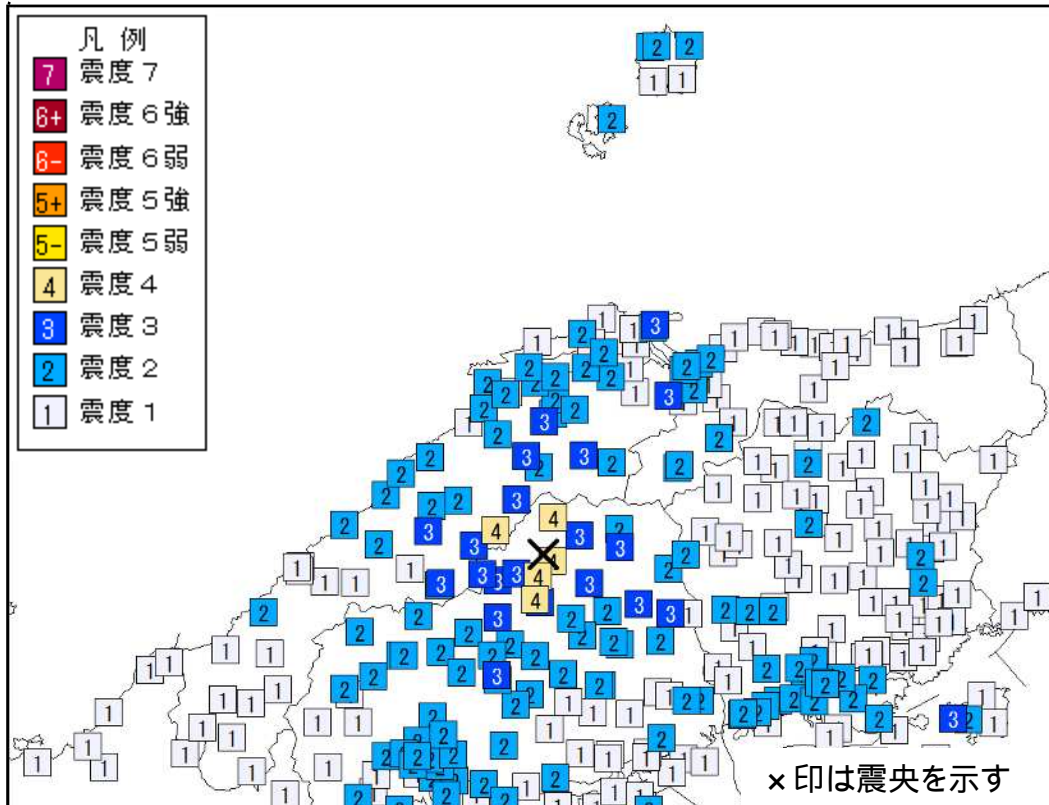
【地域震度分布図】

2018年 6月26日17時00分 広島県北部



【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



「全国地震動予測地図 2018年版」について

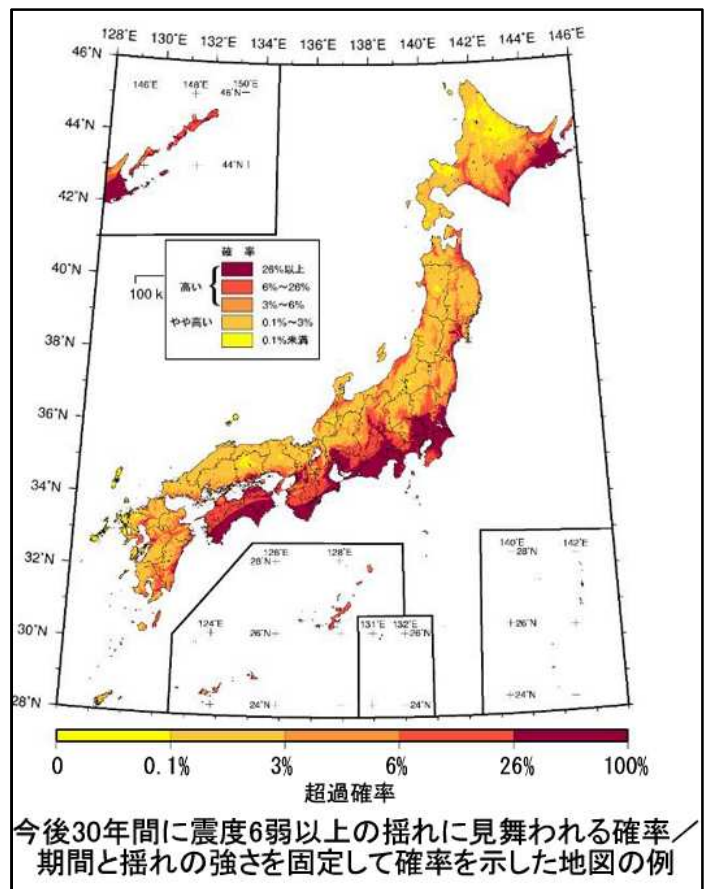
政府の地震調査委員会は、2015年以降毎年公表される新たな長期評価に基づいて、全国地震動予測地図を更新しています。今回、新たな知見に基づき「全国地震動予測地図2018年版」を6月26日に公表しました。

「全国地震動予測地図2018年版」は、今年1月1日時点で考慮し得る全ての地震の位置・規模・確率に基づき各地点がどの程度揺れるのかを地図に示したものです。今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が高い地域が濃い赤色で表示されています（下図参照）。

昨年（2017年版）と比べると、北海道東部では昨年末に見直しされた「千島海溝沿いの地震活動の長期評価」が反映され、大幅に確率が上昇しています。また、首都直下型地震や南海トラフ地震の影響を受ける首都圏や東海から四国地域の太平洋側では確率が高くなっています。日本全体を見渡すと、相対的な確率の高低はあるものの確率がゼロの地域はなく、日本のどこでも地震によって強い揺れに見舞われる可能性があります。

この地震動予測地図は「自治体の地域防災計画の立案」「学校施設の耐震化の検討」等に活用されています。

一般の方の利用方法としては、地震動予測地図から自分の住む地域の揺れやすさを確認し、耐震化診断、家具の固定や家庭における備蓄品（食料、水）の準備など、具体的な防災行動を始めてみてはいかがでしょうか。また、各自治体のハザードマップも活用して、自宅や職場周辺の避難場所・避難経路の確認もお願いします。



引用元：地震調査研究推進本部ホームページ

https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/shm_report_2018/

全国地震動予測地図の詳細なデータや関連情報は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の「地震ハザードステーション（J-SHIS）」で確認することができます。

<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>